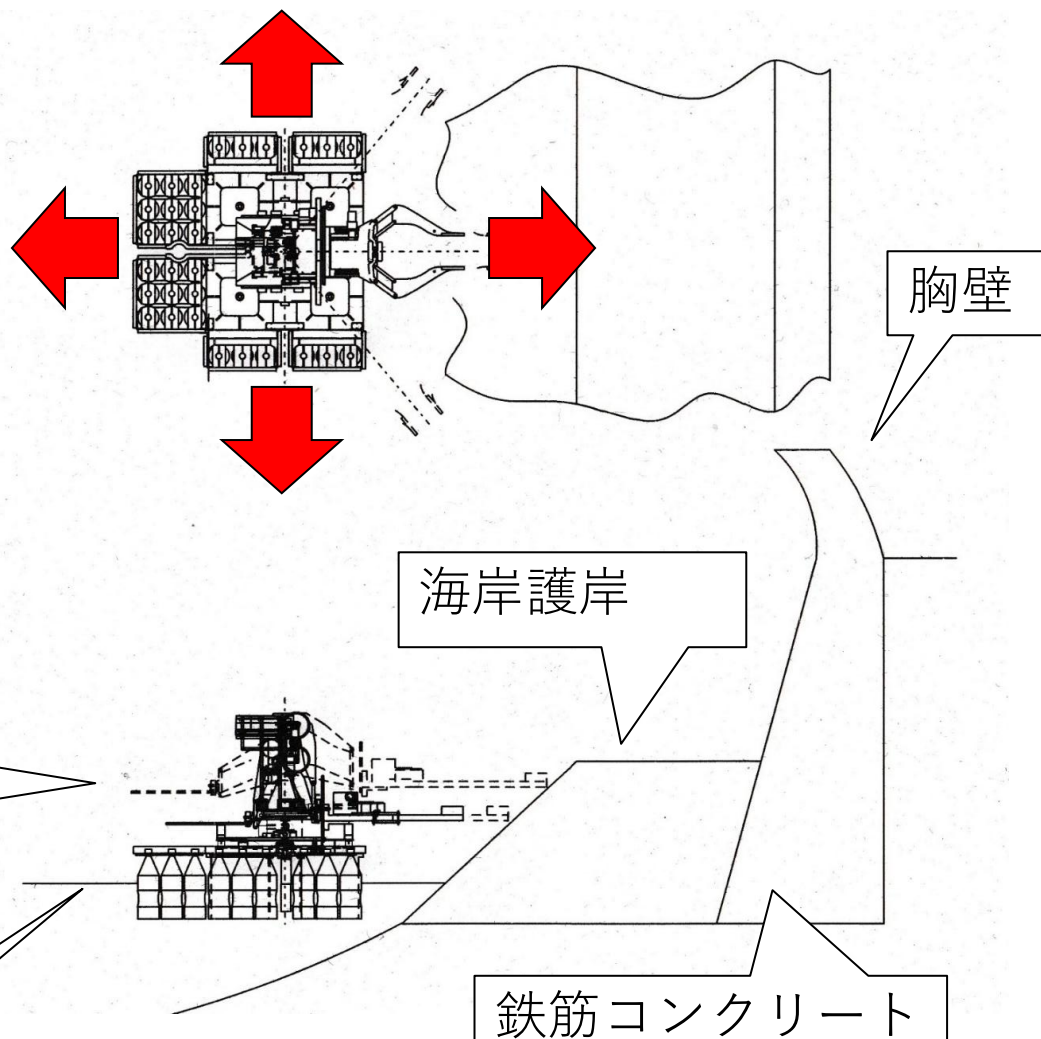


回収されないプラスチックのごみは、風で飛ばされ、川や海に流れ、波で破砕されます。そして、太陽の紫外線で劣化微細化し、マイクロプラスチックになります。さらに、このマイクロプラスチックを海洋生物が誤飲します。最終的に、この海洋生物を人間が摂食することになり、人体に悪影響を及ぼします。

そこで、海洋ごみを回収できる無人船を発明しました。

フォイトシュナイダー推進機構により海面を前後左右に動き海岸護岸の隙間の海洋ゴミを回収できる

海面



実施予想図

海洋ごみを回収できる無人船